

報道機関各位

— 持続可能な農業と県北地域における農業の振興に向けて —
令和3年度 県北地域有機農業拠点ほ場技術検討会をWEB開催します

茨城県県北農林事務所では、県北地域における有機農業の取組を推進するための一環として、現在、常陸大宮市内で有機農業を行っている（株）レインボーフューチャーの大和田 忠（おおわだ ただし）氏と、コトコトファームの古東 篤（ことこう あつし）氏を講師とした「県北地域有機農業拠点ほ場技術検討会」を下記のとおり開催します。

なお、新型コロナウイルスのまん延状況等を考慮し、WEB開催により講演していただく予定です。つきましては、当検討会について取材いただきたく、ご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 令和4年3月16日（水）13時30分～（WEB開催）
 ※当検討会の内容をご覧になる場合は、メールアドレスを送付いただくか
 県常陸太田合同庁舎3階大会議室にお集まりください。
- 2 主な内容 (1) 講演「サラリーマンからの転身 有機農業者として独立に必要な5つの要素」
 （（株）レインボーフューチャー 代表取締役 大和田 忠 氏）
 (2) 講演「緑肥の利用と草管理について」
 （コトコトファーム 古東 篤 氏）
- 3 対象者 有機農業実践者、有機農業に興味のある農業者、大学生、農業関係団体など
 （現在、申込定数60名に達しているため、申込は終了しています）
- 4 主催 茨城県 県北農林事務所 企画調整部門 振興・環境室
 （共催） 常陸大宮市 産業観光部 農林振興課



有機農業ほ場



昨年度の検討会



宅配野菜ボックス

【参考】—講師プロフィール—

□ 大和田氏

筑西市内の約30ha、常陸大宮市内の約5haのほ場で、年間約50品目以上の有機野菜を大手スーパー等に出荷しています。→令和元年度に、常陸大宮市（三美地区）に参入、現在、ニンジン、ベビーリーフ、ハウレンソウを栽培

□ 古東氏

常陸大宮市内の約2haのほ場で、化学肥料や化学合成農薬を使用しないで、少量多品目（年間約40品目）を栽培し、個人への宅配を中心に販売しています。→平成23年に、新規参入により常陸大宮市に移り住み取組定着へ

【参考】—有機農業：化学肥料や農薬を使用しない栽培—

- ① 現在、環境に配慮した持続可能な農業が求められています。
 ～SDGs（持続可能な開発目標）、「みどりの食料システム戦略」等～
- ② 現在、県北地域における農業振興を図るために、付加価値の向上にもつながる農産物生産の取組として、「有機農業」を推進しています。
 ～「技術検討会」「いばらきオーガニックステップアップ事業」等～
- ③ 常陸大宮市では、関係機関と連携して、今回、県内の市町村で初めてとなる「有機農業推進計画」を策定しました。（令和4年3月）
 ⇒今後の具体的な事業の展開及び取組の拡大等が期待されます。

「Thank You! いばらき農業」

【問合せ先】

茨城県県北農林事務所 企画調整部門 振興・環境室
 農業振興課 担当：眞部、浦田
 TEL：0294-80-3303 FAX：0294-80-3304
 e-mail：hokunourin02@pref.ibaraki.lg.jp